

「公共ホール」とは、 どのような場所でしょうか。

大人数を収容できる集会所の役割を持つホール。より専門的な機能を持つ音楽ホールや演劇ホール。独自のプログラムを企画しているホール。地域の子どもたちが遊びにくるホール。たくさんある「公共ホール」を、ひとくちに定義することはできません。「公共ホールのつくり方と動かし方を学ぶ」集中講座では、これからの公共ホールの多様な“可能性”と、そこでの“専門人材”のあり方を社会デザインという視点から考えます。昨年度、夏は立教大学、冬はいわき芸術文化交流館アリオス（福島県いわき市）にて開催し好評を得た集中講座を、今年も開講します。現在活動しているホールや、これから設置や改修を予定している新しいホールに関わっている関係者の方、そして「明日の公共ホール」に関心を持つ方々の参加をお待ちしています。

夏期集中講座 受講生募集

2015

夏期集中講座

2015年7月21日(火)～7月23日(木)
会場／立教大学 池袋キャンパス

冬期集中講座

日程／2016年1月28日(木)～1月30日(土)
会場／あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)

シンポジウム

日程／2016年1月31日(日)
会場／あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)

協力

あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)
いわき芸術文化交流館アリオス
NPO法人劇場創造ネットワーク／座・高円寺
小金井 宮地楽器ホール(小金井市民センター)
茅野市民館 指定管理者 地域文化創造
久留米シティプラザ ※平成28年開館予定



大学から

文化力

POWER OF CULTURE



平成27年度 文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業

劇場法の要請に応える、公共ホールスタッフのための社会デザイン力養成講座

-地域コミュニティ、共生社会、絆を生み出す場所と事業のマネジメントを学ぶ-



夏期集中講座 カリキュラム

社会デザイン力養成講座

「アート・マネジメントと社会デザイン」

日程／7月21日(火)・22日(水) 13:00～18:00

会場／立教大学 4号館別棟4151

コミュニティの中での公共ホールの在り方を改めて問われている今日、社会の変容とそこでの新しい動きに目を向けながら、従来の発想と方法論を超えて、社会の仕組みや人々の参画の仕方を変革し具体的に実現していく思考と実践としての「社会デザイン」が公共ホールにも必要とされています。社会デザインの大学院入門レベルの講座から、先駆的な活動をしている公共ホール実務者の講座を通して、公共ホールに求められている社会デザイン力を身につけます。

劇場ハード・マネジメント力養成講座

「公共ホールのハード・マネジメント」

日程／7月23日(木) 13:00～18:00

会場／立教大学 太刀川記念館

現在、築40～60年を迎える全国の公共ホールが建替え・大規模改修の時期を迎えており、今後10年間に新しく建てられる公共ホールとあわせると、その数は100館以上にのぼると言われています。照明のLED化をはじめとする、ホール設備の急速なデジタル化の進行によって、ホール設備機器とスタッフマネジメントについても、刻々と状況が変化しています。コミュニティの拠点となるような公共ホールとして、ホール設備をどのように整備していく必要があるのか。2005年に開館した長野県・茅野市の「茅野市民館」を題材として、ホール計画段階から開館に至るまでの軌跡を学び、ホールのハード・マネジメントへの見識を深めます。

講師紹介



Amaha Mariko

天羽 麻里子

小金井 宮地楽器ホール
(小金井市民交流センター) 館長



Ito Yasuo

伊藤 裕夫

日本文化政策学会会長
立教大学21世紀
社会デザイン研究科兼任講師



Katayama Masao

片山 正夫

立教大学特任教授
公益財団法人
セムン文化財団常務理事

写真／宮内勝



Sato Makoto

佐藤 信

劇作家、演出家
杉並区立杉並芸術会館
「座・高円寺」芸術監督



Shikano Yasushi

鹿野 安司

建築家
写真家



Takamiya Tomokazu

高宮 知数

立教大学社会デザイン研究所研究員
久留米シティプラザ
オープニング・ディレクター



Tsujino Takayuki

辻野 隆之

茅野市民館ディレクター・
茅野市民美術館長
株式会社地域文化創造代表取締役社長



Nakamura Yoichi

中村 陽一

立教大学21世紀
社会デザイン研究科教授
社会デザイン研究所所長



Nishida Osamu

西田 司

建築家
東京大学非常勤講師



Furuya Nobuaki

古谷 誠章

建築家
早稲田大学教授



Yano Shinichi

矢野 森一

舞台監督

2014年度 受講生のコメント

「課題設定は違えど向かう方向は同じ」という場合、公共ホールで培われた知恵は、他のホールで共有できるものがあると思った。専門知識+デザイン力で、現状の課題をクリアしていけるようになりたい。劇場の役割は大きく、そして多岐に渡るのだと、改めて感じた。

(新居浜市美術館及び新居浜市総合文化施設運営グループ／平成27年7月開館予定・あかがねミュージアム)

いわきアリオスの整備にかかわった各分野の方々が一室に集まった意見交換、これだけのメンバーであれば、より多くの関係者に聴いていただきたいほど大変有意義な集中講座でした。現在、自分自身がホールの整備と運営に携わっており、自分の仕事のこととリンクさせながら聴くことができました。

(公益財団法人 高崎市文化スポーツ振興財団 企画部企画課／平成30年竣工予定・高崎文化芸術センター)

受講生の例／独立行政法人 日本芸術文化振興会・国立劇場、沖縄県 文化観光スポーツ部文化振興課、大阪府高槻市 文化スポーツ振興課、水戸市 都市計画部、三精テクノロジー株式会社、工学院大学建築学部建築デザイン学科、静岡大学教育学部内アートマネジメント力育成事業事務局、日本大学芸術学部、早稲田大学創造理工学部建築学科 ほか

夏期集中講座募集概要

募集定員／30名 ※定員に達し次第、募集を締め切ります。

受講対象者／これからの公共ホールに関心をもつ方(ホール制作者、舞台芸術実演家、自治体職員、建築家、コンストラクションマネジメント等建築関係者、それぞれの志望学生等)

受講料／9,000円(全3日) 応募締切／2015年7月10日(金)

研修制度／宿泊を必要とする受講生(東京・埼玉・神奈川・千葉からの参加者を除く)に、旅費と宿泊費を補助する研修制度を設けています。詳しくは、事務局までお問合せください。

年間プログラムのお知らせ

●夏期プレ講座 日程／2015年7月15日(水) 19:30～21:30 会場／立教大学 太刀川記念館 入場無料・要申込

「公共ホールのつくり方と動かし方」を初めて受講される方を中心に、プレ講座を行います。

●冬期集中講座 日程／2016年1月28日(木)～30日(土) 会場／あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター) 受講料／9,000円(全3日)

●公開シンポジウム 日程／2016年1月31日(日) 会場／あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター) 入場無料・要申込

お申し込み・お問い合わせ

立教大学社会デザイン研究所 文化芸術推進事業事務局 Tel／03-3985-4893 Fax／03-3985-4725 Mail／hall-koza@rikkyo.ac.jp 担当／川口、藤田、森田